

東海大学付属望星高等学校

同窓会会報

第35号

発行人
金谷義孝
平成二十五年一月発行
東海大学付属望星高等学校同窓会
Tel 03(3467)8111
東京都渋谷区富ヶ谷2-10-1
高校から赴任してまいりました。ご存知のように他の付属高校は全日制で



望星への想い

校長 細川 洋

昨年4月に、校長として望星高校へ赴任してまいりました。三十数年の教員生活の中で、いくつかの付属高校を経験してきましたが、望星高校で勤務するのは三回目になります。

最初は、1978年から2年間、社会科の非常勤講師としてお世話になりました。当時の校長は内木先生・教頭は村田先生でした。当時私は「二足のわらじ」状態で、大学院の学生であり、本校の非常勤講師として「日本史」を担当していました。今考えてみると、望星高校での、多くの年上の生徒との接触が、私の教員生活の原点でもあります。接觸といつても、週1回金曜日の夜8時半からのFM東京から流れる放送講座と、レポート添削、そして月に1～2回のスクーリングだけでした。

2回目の勤務は、2007年から2年間、教頭として勤務してきました。校長は細野先生で、一人とも付属第三高校から赴任してまいりました。ご存知のように他の付属高校は全日制で

あり、本校のような通信制・単位制とはシステムが大きく異なります。それまでの25年間の教員生活で得たものが、そのまま通用しないことも多く、本校での仕事を覚えるために四苦八苦していました。毎日が新鮮であるとともに戦争でした。

そして今回が3回目の勤務となり1年が過ぎようとしています。過去に同じ職場で仕事をしたり、お世話になった先生方も多く、温かく私を迎えていました。毎日が新鮮であるとともにに戦争でした。

Yさんのように「学びたい・学習したい」という熱意を持つ生徒が存在する以上、その思いを私たちは真摯に受け止めて、望星高校での教育に邁進しています。時代が変わつても、そしてどのような生活環境に置かれていても、Yさんのように「学びたい・学習したい」という熱意を持つ生徒が存在する以上、その思いを私たちは真摯に受け止めて、望星高校での教育に邁進しています。時代が変わつても、そしてど

ういう熱意を持つ生徒が存在する以上、その思いを私たちは真摯に受け止めて、望星高校での教育に邁進しています。時代が変わつても、そしてど

ういう熱意を持つ生徒が存在する以上、その思いを私たちは真摯に受け止めて、望星高校での教育に邁進しています。時代が変わつても、そしてど

ういう熱意を持つ生徒が存在する以上、その思いを私たちは真摯に受け止めて、望星高校での教育に邁進しています。時代が変わつても、そしてど

ういう熱意を持つ生徒が存在する以上、その思いを私たちは真摯に受け止めて、望星高校での教育に邁進しています。時代が変わつても、そしてど

ういう熱意を持つ生徒が存在する以上、その思いを私たちは真摯に受け止めて、望星高校での教育に邁進しています。時代が変わつても、そしてど

夢うつ



会長
金谷義孝

私の主な仕事は鍼灸マッサージ師だ。その延長線でケアマネージャーや在宅ケアでリハビリテーションも行っている。15年来の患者さんが、認知症を発症したのを機に、老人ホームに入所された。86歳と高齢の上、脊椎管狭窄症で単独歩行困難である。そのリハビリの為、週二回往療するのだが、行くたびに寮歌が流れている。「嗚呼玉杯に花うけて…」で聞き覚えがあるかと思うが、旧制高等学校寮歌である。その方は旧制高校から東京帝大医学部を卒業し、ニューヨーク大学医学部教授まで務められた。施術中はいつも目をつぶり、わずかに寮歌を口ずさむ。たぶん若き日の自分を、夢の中で思い浮かべているのだろう。

私は昭和39年、東京オリンピックを見に高校1年生の時、長崎より上京してそのまま銀座に住み着いた。だからオリジナルと銀座には、特に思い入れが深い。昭和41年に銀座に喫茶店を開業し、昭和48年、長女誕生をきっかけに望星高校に入学した。ここまでは幾度か会報

にも書いているが、望星に入学し建学の精神と生涯教育の教えるおかげで、私のその後が大きく変わった。望星卒業後は通学の都合上、慶應大学通信教育部法学部で学んだ。このため、簡単な国家資格から修得し、宅建取引主任修得後は不動産業に進出した。飲食業や不動産業が、私の一生の仕事か?と疑問も有り、友人の奨めで45歳から鍼灸マッサージの専門学校に入学した。2年生在学中に脳梗塞を発症し、45日間の入院中に自己リハビリで、奇跡的に大きな後遺症もなく回復した。この治療効果に私自身も驚き、この仕事に残りの人生をかけてみようと思った。

卒業後、バブルも弾けたため、飲食店等の仕事は廃業し、治療院を開業する。脳梗塞後遺症があると、満足な仕事ができなくなるので経済的弱者になる。治療費負担を減らすには健康保険の適用は必須だと考え、健康保険申請ソフトの開発や申請代行業の会社までと拡大した。介護の為にケアマネージャーまで修得したのも、建学の精神と生涯教育の教えのおかげである。

昨年はロンドンオリンピックで感動的なシーンが沢山あつた。特に50年来続いている空手道が、東京オリンピックになれば、正式種目なれるとの思惑から、フレーズで、署名活動を始め招致運動に

にも書いているが、望星に入学し建学の精神と生涯教育の教えるおかげで、私のその後が大きく変わった。望星卒業後は通学の都合上、慶應大学通信教育部法学部で学んだ。このため、簡単な国家資格から修得し、宅建取引主任修得後は不動産業に進出した。飲食業や不動産業が、私の一生の仕事か?と疑問も有り、友人の奨めで45歳から鍼灸マッサージの専門学校に入学した。2年生在学中に脳梗塞を発症し、45日間の入院中に自己リハビリで、奇跡的に大きな後遺症もなく回復した。この治療効果に私自身も驚き、この仕事に残りの人生をかけてみようと思った。

卒業後、バブルも弾けたため、飲食店等の仕事は廃業し、治療院を開業する。脳梗塞後遺症があると、満足な仕事ができなくなるので経済的弱者になる。治療費負担を減らすには健康保険の適用は必須だと考え、健康保険申請ソフトの開発や申請代行業の会社までと拡大した。介護の為にケアマネージャーまで修得したのも、建学の精神と生涯教育の教えのおかげである。

ロンドンオリンピックの合間に見た、ランボー3の怒りのアフガンという映画のラストシーンのセリフに心に残るものがあつた。それは、ストラウス大佐は言つた「ランボー、何か望みはあるか?」ランボーは言う「彼ら(捕虜たち)が国を愛すよ

うに、國も彼ら(捕虜たち)を愛して欲しない」というフレーズだ。ランボーの時代背景にはペトナム・アフガン戦争の後遺症で、



特に力が入った。私の弟子・孫弟子達も優秀な選手が増え、昨年の空手古武道大会にて、小学生の7種目競技で6種目はオリンピックを目指して、選手育成に新たな目標を得た気がする。

優勝、1種目準優勝という快挙で、専門誌からインタビューも受けた。これからも「君が代」や「隅田川」でもいいだろう、国民投票で勝ち取るくらいの運動をするべきだ。春のうららの隅田川♪なんて輪唱すれば世の中がほのぼのとした感じになるだろう。だが現在は「君が代」が国歌で、日の丸が国旗だから、それを守り歌う事は国民の義務ではないだろうか。

最近は愛国心どころか愛校心も低下している。連合同窓会でも松前重義先生の話がよくある。私の卒業式でも総長賞を頂き、握手したあの分厚い重義先生の感触を、今でもしつかりと覚えている。松前達郎先生の感触はない。今後の東海大は、私達を愛してくれるのだろうか? 望星高校がどんどんなくなっていく、希望を星に繋げる学校が衰退していくのだろうか? とても心配だ。我々も母校を愛するように、母校も我々を愛して欲しい。

冒頭の患者さんは寮歌を口ずさみ、時に微笑み、時にうつすら涙が浮かぶ。自由に体が動き、仲間と肩組あい笑聲をはりあげる、青春の真つただ中の夢の世界にいるのだろう。

やがては絶対にやつて来る私の最後も、愛する望星の歌を口ずさみ、夢うつつで、次の世界に旅立ちたいと切に思う。

文化祭に懸ける思い

同窓会事務局

平成二十四年十月二十八日、ようやく厳しい残暑から開放され、ほのかに秋の気配を感じる良き季節に、望星高校の文化祭が開催されました。此の文化祭に同窓会は、本年三回目の模擬店を出店致しました。

現在、望星高校同窓会は、会設四十九年目を迎えました。まもなく半世紀を迎える歩の中で、いま、同窓会は時代の変革に、大いに戸惑いを覚えています。

此の時代に来て、卒業生なら少なからず持つていてるだろう、母校愛や友との「絆」の希薄さ、母校への帰属意識の低下、其れは世の中全体の時代の流れと併に忍び寄つて來た、自分本意的意識に他なりません。

いま、まもなく半世紀を迎える望星同窓会にも、世代交代の時期が訪れています。

望星高校同窓会は他の付属同窓会と違い、野球で甲子園を競い、スポーツ全般に情熱を傾け、支援し、吹奏楽で日本一を競う等事が難しく、悩ましい所が有り、その結果、後繼者不足に陥りがちなのです。

然し、此の様な状況下でも「絆」強くする為に、頭を抱えて居るわけには行きません。

私達の同窓会は、私達の母校を大切に思ひ、私達の母校に貢献、寄与する事が同窓会



の持つ意義で有り、誇りで有り、仕業で有る事を、再び思い出して戴く為に、文化祭等々の仕業で会員に訴え続ける事、文化祭の模擬店参加などで在校生とのコミュニケーションを通じて将来、母校に寄せる「絆」と、帰属意識の高揚を導き、今後の布石になることを願つて、同窓会は此の文化祭の模擬店を、大切に事業の一環と考えています。

昨年の出し物は同窓会の定番に成りつゝ有る、ピックフランクがメインで、三十分足らずで売り切れと大人氣でした。白玉団子の二点で模擬店は大成功、本年も頑張るぞ・



望星同窓会創立五十周年記念祝賀会及び総会のご案内

中年を過ぎたものの感懷でしようか、春が去り、夏が来るしるしのような藤の花に、そこはかとない哀愁を感じます。

早いもので、望星同窓会も五〇周年を迎えました。この間、望星も大きく変わりましたが、皆様はお変わり有りませんか？たまには身も心も若い学生時代に戻りませんか？懐かしい先生や仲間たちと集まり昔話に花を咲かせませんか？皆様のお越しをお待ちしております。尚ご出席できない方もハガキにて近況をお知らせ下さい。



- 一、日時 平成二十五年六月九日(日) 午後一時より総会
- 二、場所 東海大学校友会館 千代田区霞が関三一二一五
- 霞が関ビル三五階 電話 三五八一一〇一二一
- 総会・祝賀会 当日掲示

- 三、会費 五千円
- 今年度卒業生 二千円

内木弘一郎

富士山の頂上にアンテナを



東海大学付属望星高校
名誉校長

内木文英

「私は今、こんなことを考えている」東

海大学を創った松前重義博士が私に話したのは、昭和三十一年（一九五五年）四月のことだ。私は三十歳であった。

東海大学の教員になった私が、代々木校舎二階の総長室（当時は理事長室）に勤務をはじめるにあたつてのあいさつをしに行つたのだ。

松前先生は国会議員だった。無装備ケーブルという世界にも有名な発明をされたり、あの無謀な第二次世界大戦に反対して、当時の総理大臣東條英機の怒りを買い、陸軍二等兵におとされ、火薬船に乗せられて南方に送られたのは有名な話だ。

新任のあいさつに行つた私に松前先生は「富士山の山頂にアンテナを立て、そこから、日本ではまだ開発されていない電波を流し、その電波に教育を乗せたい。ラジオをもとにした学校を創りたい」

そう言わされたのだ。

松前先生との最初のあいさつの日だつたが、あいさつらしい話はなかつた。

先生は私より二十三歳年長の五十三歳であつた。

先生と会う日はそれから何度もあつた。そのたびに先生は富士山の話をされたのだ。「無理だろ」と私は考えていた。

東海大学も当時はまだ大きくなかった。私は学校の先生を続けるか、作家として生きるか迷っていた。

演劇の雑誌に私の作品が数多く載つた。中学校の国語の教科書に私の作品が掲載され、評判になつた。カラーテレビがはじまつて、その実験放送に私の作品が上演された。夕刻一時間の作品だつた。テレビを書いてほしいという要望が、いくつかのテレビ会社からあつた。

新しい放送局ができるか。無理だと思つていた。

昭和三十三年四月、郵政大臣の田中角栄（後の総理大臣になつた人だ）から、

東海大学に、新しい電波（FM放送）の実験放送に対する免許が出た。

富士山の山頂ではなかつたが代々木校舎にアンテナを立て、放送局が生まれた。（昭和三十三年十一月）

私はその放送を使っての学校を作ることをまかされた。この学校ができたら、先生をやめて作家生活に入ろうと思つていた。

最後には松前先生自身が文部省、東

京都に出かけていつて熱弁をふるつた。昭和三十四年三月二十一日に学校を開校してもいいという認可がおりた。世界ではじめてのラジオによる学校だ。私は教頭ということになった。学校ができた

のだから、私の教員生活は終りだと思つた。生徒の入学を確かめて、自分のそれからることを考えようと思った。

昭和三十四年（一九五九年）六月には、じめてのスクーリングが行われることになつた。約三十名ほどの生徒が参加した。

七十歳の老人もいた。身体障害者がひとり出席した。小学生低学年ほどの身体だけたが、二十歳を越えた成人だつた。弟が大学生で、障害を負つた兄を背負つて登校したという。私のすぐ前の机に座つて、私の言葉をノートに記していた。

その夜、酒をあおつて、ひとりで考えていた。「テレビを書いて稼ぐか。あの子のために生きるか」もし学校から逃げ出しつて、作家として生きたら、「自分」というものがなくなるだろう、と私はその時考えていた。

最後に内木先生が壇上に立ち、「私は東海大学前総長松前重義先生に出会わなかつた。普通の物書きで終わつた」と思つた。総長の命を受け、電波による放送通信教育望星高校創設のために奔走したことなど自らの興奮を鎮めようとスタンダードマイクを（杖代わりではありません）握りしめ、内木節を語らせていました。

つぎは卒寿つまり九十才のお祝い、もうす

米寿の祝い

七期 長南友行

昨年九月八日東海大学校友会館にて、望

星高校名誉校長内木文英先生の米寿を祝う会が行われました。これでも有志が集ま

り、金婚式、喜寿、傘寿など節目ごとに行なつてきましたが、この度も米寿（八十八才）の祝

事で学校関係は成田先生、同窓会は金谷会長が中心になり企画しました。八十八の数字にこだわり、会費・花束八千八百円、参加人数八十八人限定とした。北島・桑島・桜井緒先

生をはじめ、前・現校長先生など教職員の方々、相模戸塚会長、浦安同窓会・望星同窓会会員など。企画側の力不足でしたが、六十

三名の有志に参加をいただきました。式は同窓会前会長下倉氏の乾杯ではじまり参加したほぼすべての方が壇に上がり、内木先生の長寿への祝意を表し、和やかに懇談が続きました。

最後に内木先生が壇上に立ち、「私は東海大学前総長松前重義先生に出会わなかつた。普通の物書きで終わつた」と思つた。総長の命を受け、電波による放送通信教育望星高校創設のために奔走したことなど自らの興奮を鎮めようとスタンダードマイクを（杖代わりではありません）握りしめ、内木節を語らせていました。

ぐです。今から準備をしなければと思ひます。今回お集まりいただいた方々、又お祝いのお花を頂戴した方々には心より厚くお礼致します。

望星高校と私

元校長

成田吏

私が望星高校に赴任したのは、昭和四十年からでした。工学部の出身なので、最初に担当した教科は数字と理科でした。教室で待っている生徒さん達は皆、大人ばかりでした。その衝撃と教員としての準備不足を痛感し、八王子の私学教育研修所で物理教育の全般を数年かけて学びました。ここで初めてコンピュータに接触し、わけの分からぬコンピュータ言語でソフトを組み、画面に異様な图形で現れた時には感動しました。この体験が、望星高校の複雑な学籍や成績処理を電子化するきっかけとなりました。

私が担任を持ったのは、四十一年度クラスからでした。最初に教室に入ったとき、そこに座っていたのは頭髪の薄くなつたおじさんや、賑やかにおしゃべりをしているオバサン達でした。予想はしていましたが、この人達が私の担任する生徒達であることを理解するのに時間が必要であったように思います。勿論、長南君、山口君、川島君等の若手も居て、彼らが私を助けてくれたのでしょう。

このクラスで教員として最初の挑戦は、複

雑な年齢構成や多様な人生経験者との対応の仕方を学び工夫することでしたが、一人気になる生徒が居ました。松本君でした。スク

ーリングの出席カードに、「父親代理」、と記入が息子の代わりに出席しているとのことでした。松本君は、骨が弱く歩行困難で、家から出ることができない状況にありました。副

担任の池淵先生とも相談し、職員会議で松本家に我々が出掛け行って教えることが出来ないだろかと相談しました。先生方の暖かい応援で、松本家への出張スクーリングが始まりました。私が訪ねてゆくと、松本君はニコニコと笑顔で迎えてくれました。この笑顔に、緊張していた私も楽しく授業が出来ました。しかし、その後が大変でした。授業が終

わると小さな将棋盤が用意され、将棋をやろうと言い出したのです。駒を並べ、動かす方法は知っていました。勝負は一回では済まず必ず数回は戦い、しかもこの戦いは卒業するまでの四年間続き、私が勝つことはありませんでした。彼の家に卒業証書を届け、「卒業を認める」と読み上げても、彼のニコニコ顔は変わりませんでした。隣の部屋の襖越しに、お父さんは、彼の卒業を待たずに亡くなつていったのです。

望星高校は、教員は教科内容を生徒に伝授しますが、生徒から人生を学べる学校です。様々な環境にある生徒が、卒業を目指して励む心意気に常に圧倒されました。本校には沢

山の思い出があり語りつかせません。
私にとって、大切な心の故郷です。

日々徒然

東海大学付属
望星高等学校



金子純郎

都心から京王線を使い三十分で稻城駅に着く。改札を出て目の前のバスター・ミナルの南方向に多摩丘陵が横たわり、駅から徒步十分程で里山の入口へ続く坂道に着く。人家が途切れ里山の風景が大きく開け、ハケ沿いに三百メートル程進むと炭焼き俱楽部の門扉があり、ここからハケ下に下りるとトタン屋根の小屋に炭焼き窯がある。

地権者の好意でこの一角をお借りした。窯の製造は地元でかつて炭焼きをした方のご指導を得て、窯に相応しい良質の粘土が採れるのも分かった。窯といえば耐火煉瓦を使ったものが多いため、古来この地で造られた工法で造つた。窯の広さは四・三立方メートル、大人四五人が入れる。木炭や竹炭を焼き、地元のお祭りなどで販売している。炭焼きの活動を始めた七年目に入つた。

この地では五十年前まで何軒かの農家が農閑期の仕事に炭を焼き副業についていた。所が高度成長期に入り炭は需要をなくし、その結果里山は荒れ放題になつた。竹藪は踏み固められ、草木が伸びなくなつて、常緑樹は大きくなり育ち、周囲の環境を一変させた。常緑樹が茂ると地面に光が射し込まず植生が変わらぬ。常緑樹は伐り出したあと萌芽再生し、二三十年もすれば木炭を作るのにほどよい太さに育つ。下草を三年続けて刈り込むと太陽の光を待つていて種や地下茎の植物が芽を吹く。そのいい例がタラの木だ。今では多くのタラの木が根を張り、春にはタラの芽が採れる。窯の前は手入れの行き届かない生産绿地、南に梨畠、東西両側に竹藪、北側に急な斜面を背負う。時に活動の様子をうかがうように狸が顔を出し、梨の実りの時期にハクビシンも加わり失敬に来る。鳥の種類も多い。コゲラ、アオゲラ、キジ、ガビチョウ、特筆はカワセミがここに営巣したことだ。四月の営巣から六月の巣立ちまで貴重な記録を撮り続けたこともある。蝶も多い。カラスアゲハ、ジャコウアゲハ、クロアゲハ、テンゲチョウ、ヤマキチヨウ、ムラサキシジミ、ウラギンシジミ、ことのほかシジミチョウは種類が多い。植物ではタマノカンアオイ、キンラン、ギンラン、エビネ、アケビなどがある。窯の近くに地下水が滲みだす所がありここにサワガニが生息する。木々が芽を吹き若葉が日毎に色を変えるのが見える春、夏は竹藪を抜けた風が笛の香を巻き涼風と変わる。秋は枯草が日向の匂いを包み、冬は北風をさえぎり陽だまりの灘場となる。時が緩慢に過ぎることをかたくなに主張し、賛沢な気分が味わえる「大人の隠れ処」ここで遊んでいる。炭焼きを通じて里山の再生を考え

入れることもできないほど密生し、常緑樹は大きくなり育ち、周囲の環境を一変させた。常緑樹が茂ると地面に光が射し込まず植生が変わらぬ。常緑樹は伐り出したあと萌芽再生し、二三十年もすれば木炭を作るのにほどよい太さに育つ。下草を三年続けて刈り込むと太陽の光を待つていて種や地下茎の植物が芽を吹く。そのいい例がタラの木だ。今では多くのタラの木が根を張り、春にはタラの芽が採れる。窯の前は手入れの行き届かない生産绿地、南に梨畠、東西両側に竹藪、北側に急な斜面を背負う。時に活動の様子をうかがうように狸が顔を出し、梨の実りの時期にハクビシンも加わり失敬に来る。鳥の種類も多い。コゲラ、アオゲラ、キジ、ガビチョウ、特筆はカワセミがここに営巣したことだ。四月の営巣から六月の巣立ちまで貴重な記録を撮り続けたこともある。蝶も多い。カラスアゲハ、ジャコウアゲハ、クロアゲハ、テンゲチョウ、ヤマキチヨウ、ムラサキシジミ、ウラギンシジミ、ことのほかシジミチョウは種類が多い。植物ではタマノカンアオイ、キンラン、ギンラン、エビネ、アケビなどがある。窯の近くに地下水が滲みだす所がありここにサワガニが生息する。木々が芽を吹き若葉が日毎に色を変えるのが見える春、夏は竹藪を抜けた風が笛の香を巻き涼風と変わる。秋は枯草が日向の匂いを包み、冬は北風をさえぎり陽だまりの灘場となる。時が緩慢に過ぎることをかたくなに主張し、賛沢な気分が味わえる「大人の隠れ処」ここで遊んでいる。炭焼きを通じて里山の再生を考え

ている。

望星に赴任の年に担任をした五十一Aクラスとは卒業後もクラス会を続けている。卒業して三十二年が過ぎ、皆さんお年を召される。最近は一泊二日の温泉旅行が定番となつてゐる。長年顧問を続けた写真部、毎年卒業間近の三月第一週の週末、二十五年続いた「追い出し撮影会」、「互いに線香を上げるまで」と口癖にしてきた縁があり、今でもOB、OGが集う機会をもうけている。

昨年の暮れ、会員の先生の企画で横浜の三渓園に親交のあつた先生方と紅葉狩りに出かけた。この会を「七星閑談会」と呼び、毎年旧交を温め続けている。最初の頃は代々木上原近くの武蔵屋で会食をしながら閑談していたがここ数年は近郊の名所、武相莊、川越、旧岩崎邸、浅草等に出かけた。

写真を趣味にして長いが昨年初体験となる「写真展」を開いた。多摩川の支流で市内を流れる唯一の河川の三沢川、コサギ、カワウ、スズボンが餌を漁り、四月の下旬の数日マルタが大量に遡上し産卵する。この川にカワセミが生息する。その生態を撮り続けてきた。写真部OBでプロのカメラマンに大きく引き伸ばしていただき写真展にこぎつけた。

考えると縁とは実に不思議なものだ。地球丸という運命共同体。同時代に生きていくといふ不可解。偶然同じ望星丸に乗り合わせた乗客同士であるという「縁」だ。同窓会はその「縁」を考える一つの場である。毎年同窓会の

バ)案内をいただく。出席するように心掛けてきた。最近特に同窓生の参加が少なく寂しい。与えられるものを待つ身ではなく行動を起こすことで得るものがある。ここで『あなた』が得るもののが昨年米寿を迎えた内木文英名誉校長の名言「価値ある変化」に結ぶものがあると信じたい。

地元で炭焼きの活動をはじめ、稻城市シルバー人材センターの事業のひとつである学習教室、まだ数学を教えられる気力が残っている。

団体連合会にも関わり地域の芸術、文化活動を支援する組織の役員も務めている。最近、小説家・故倉橋由美子さんの実弟で絵画、装丁家の倉橋三郎氏に師事して絵画を始めた。まだ初心者である。また、五十年來の友人、小説家で島田美術館館長の島田真祐氏の初期作品をまとめた作業をライフワークにしている。

「応分」という言葉の意味を教えたのは亡き母である。自分のもつ能力の範囲内で負担や義務感を感じることなく活動に参加することを心がけている。

先ずは健康であることに感謝して。



前会長
下倉 良次

第三の人生

定年退職後の生活は「第二の人生」と言われています。その日を12年前に迎ました。

毎日が日曜日になつてしまふので、時間を持て余し運動不足になることが一番心配でした。当然予測されていたことなのでその1年前から準備をはじめました。まず一番近いス

ポーツジム探しからはじめました。幸い一駅隣にゴルフ練習場もあるスポーツクラブがあつたのでそこに入会し、時々会社帰りに立ち寄ることから始めました。退職後はそこに通勤(?)するようになりました。夜は暇だったのでアルバイトを紹介してもらい、僅かながら収入を得ることもできました。ここまで順調な日々を過ごすことができましたが、異変

は突然やつきました。

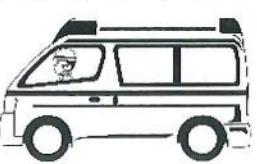
平成21年11月、自分のホームコースに友人とゴルフに出かけました。少し肌寒い日だったが気になるほどではなかつたと思います。終わってビールとワインを飲んで気分よく帰り、テレビを見ながら寝てしまいました。目が覚めて「さて、寝ようか」と立ち上がりこうとしたが右足が踏ん張れない。なんとか壁伝いに歩いてベッドまでいきましたが、何となく不安でした。

翌朝目が覚めて恐る恐る第一歩を踏み出ましたが、昨夜と同じで立ち上がれない。「血圧が高いから降圧剤を飲みなさい」退職前から医者に言っていたので定期的に通院して薬をもらっていました。母は私が45歳の時脳梗塞で亡くなりました。だから「これは脳梗塞?」とその時思いました。多分入院するこ

となるだろうと思い準備をして、歩いていくのも車で行くのも無理なので思いきつて電話機をとりました。「119」に電話をするのは初体験、「具合が悪いのはどなたですか?」「私は助かりました。『ピーポーピーポー』派手な音をだして救急車がやって来たので、近所の人達が一齊に窓から見てる気配を感じられました。「また来たの?」

一ヶ月前に心不全で入院した時の看護師さんが迎えてくれました。後で気が付いたのですがその日は11月13日の金曜日でした。2回目のCTスキャンで脳梗塞が確認されて治療が始まりました。いろいろな検査をして後はリハビリをして回復を待つことになりました。年末を迎えてクリスマスのキヤンドル・サービス、元旦のお雑煮など初体験でした。「外は寒いし、のんびり治療すれば」と先生に言われてその気になつてましたが、「3ヶ月くらいで退院させられるよ」と友達から聞かされました。2月中旬になると「もうここで治療することもないから自宅でハビリすれば」と言わされたので退院することにしました。

1年で元に戻れると思っていましたが甘かつたですね。2年過ぎた今もまだ「スタスタ」と歩けない。スポーツジムのプールで歩行訓練を続ける毎日です。



余波を受けて、東京を当番校となりました。
二十五年度九月に連合同窓会のホスト校としての任を果たす準備を進めています。

此の連合同窓会の事業に沿うように、望星高校同窓会は、発足五十周年を、平成二十五年度に迎えます。記念式典を六月九日、記念会場は、東海大学校校友会館、霞ヶ関ビルを会場とする予定になっています。

また、望星同窓会が力を入れて行っている事業に、文化祭の模擬店出店が有ります。前回出店で三回目となり、出し物は同窓会の定番となったジューシーな、ビッグフランクと白玉団子、毎年、フランクは大人気で、開店三十分足らずで完売になります。平成二十五年の文化祭は、十月二十七日(土)です。

昨年春三月、母校の卒業式が挙行されました。母校の校舎は半世紀を経て、綻びはじめました。だが此れを繕い、次の世紀に向けて数々の指針を遺され、何時も爽やかな笑顔と多くの思い出を遺された「細野久」校長先生が退任され、新校長に「細川洋」校長先生が着任されました。母校に於いて、新旧の交代は有つても、其の思想は受け継がれ、其の指針の基に培われるものと信じ、同窓会員の皆さんに、其の時々の、貴方の、思い出有る校長先生に、同窓会総会でお逢い下さい。

学校便り

今回は、クラブ活動の報告をします。

<http://www07.upp.so-net.ne.jp/yumidasu/>

望星高校同窓会ホームページ アドレスのご案内

文化祭
10月27日(日)を予定。

10月13日..「総合体育大会柔道大会」3位。	5月3日..東京都予選(村井大輝)が見事A級で優勝して全国大会への出場
8月8日・9日..富山県で将棋全国大会に出場。全国ベスト16の成績。	8月8日..「春季柔道大会」で、団体の部で準優勝。

平成23年度 会計決算報告	
東海大学付属望星高等学校同窓会	
収 入	支 出
前期 繰越金 3,754,090 円	連合関係費 180,000 円
新会員入会金 1,094,000	生徒会関係費 47,410
新会員年会費 379,000	通信費 606,640
総会時年会費 13,000	会報費 388,500
総会時寄付金 9,000	事務局費 34,668
局振込年会費 191,000	総会費 134,167
局振込寄付金 103,000	印刷費 200,550
立替金(バインダー) 201,600	交通費 119,070
銀行振込年会費 2,000	会議費 25,080
	卒業記念品費 362,250
	支部活動費 69,000
	涉外費 25,790
	機器整備費 33,290
	母校施設整備等援助金 280,000
(小 計) 5,766,546 円	(小 計) 2,486,415
合 計 5,766,546 円	繰 越 金 3,280,131
次期(平成24年度) 繰越金 3,280,131円	合 計 5,766,546 円

上記の決算、厳正なる監査の結果、相違無い事を認めます。

平成24年6月3日

監査役 清水 庄司(2期)  監査役 針替 幸子(27期) 

平成23年度総会・懇親会収支決算報告

平成24年6月3日 望星高校に於いて

収 入	支 出
会費 102,000円	飲食費他 236,167円
(総会費より負担) 134,167円	

特別会計 平成23年度中にお預かりした、母校整備等支援寄付金・142,000円は24年度に学校宛てに振り込まれます。

平成24年度 予算案

平成24年度 予算案	
東海大学付属望星高等学校同窓会	
収 入	支 出
前期 繰越金 3,280,131 円	連合関係費 220,000 円
新会員入会金 1,012,000	生徒会関係費 80,000
新会員年会費 373,000	通信費 600,000
年会費・寄付金 300,000	会報費 350,000
立替金(バインダー) 159,600	事務局費 70,000
利子・利息 1,000	総会費 140,000
	印刷費 180,000
	通信費 125,000
	会議費 25,000
	卒業記念品費 39,000
	支部活動費 57,000
	涉外費 20,000
	機器整備費 15,000
(小 計) 1,901,000	(小 計) 1,224,731
合 計 5,125,731円	合 計 5,125,731円

平成24年度 役員選出

常任顧問 下倉 良次(5期)
会長 金谷 義孝(14期)
副会長 漆谷憲康(6期) 原澤純一(9期) 犬竹吉春(25期) 各支部同窓会支部長
事務局長 寺林 勝実(29期)
書記 駒崎 美帆(28期)
会計 (主任)長南 友行(7期) 柳 麻紀(34期)
事務局次長 須永 英典(38期) 武藤 夏美(46期) 小泉 舞(44期) 竹内 仁(19期)
監査役一員外 兼田幸彦(46期) 石田ひかり(46期) 鈴木香織(46期) 松本美玲(46期)
監査役二員外 西村龍介(46期) 鈴木智絵(46期) 鳴海重矢(46期) 川元哲也(46期)
監査役 清水 庄司(2期) 針替 幸子(27期)
広報担当 時田 早紋(39期)
新規委員一員外 (47期)土屋知義 東史奈 高橋弥矢野 伊藤信舞 井出壮介
新規委員一員外 山名瑞季 有川真帆 原田麻里子 廣田仁美 山岸郁貴
新規委員一員外 八頭麻衣 増元裕子